

盛岡ヘアメイク専門学校
平成27年度学校関係者評価報告書

学校法人盛岡理容美容学園

学校関係者評価報告書

評価項目		
教育理念目標	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「てっぺんを目指す2年間」という校訓は、理念・目標を端的に表現し、学校の目指す方向性が明確に打ち出されている。それは、県内外の各種コンテストにおいて、毎年多くの入賞者を輩出し、各地で多くの卒業生が活躍し、高い評価を受けていることがその証左である。 ○ 情報発信という点において若干厳しい評価である。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「てっぺん」の表す意味・内容を学生のみならず、保護者・業界・地域社会に具体的に示すことにより、教職員の共通理解のもと、情報を適切に発信し、学生の将来の夢・希望の更なる実現に向けて継続して指導していただきたい。 ○ 学生の日常生活や学習状況が保護者に伝わるような方策を検討していただきたい。
学校運営	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内で行われる各種会議情報の適時開示が求められている。 ○ 日常的な校務運営の為の情報処理技術の向上が求められている。 ○ 防犯・防火対策、避難訓練等の実施を訴えている。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の現状及び将来についての共通理解を図り、双方向の情報交換を密にするためにも、適切な情報開示に努めていただきたい。 ○ 業務効率の向上のため、パソコン等の情報機器の研修充実に努めていただきたい。
教育活動	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員は、知識・技能の更なる向上を図り、学生指導を更に充実したものとするため、各種講習会等への参加を強く求めている。 ○ 時代のニーズを捉えたカリキュラム編成の検討を求めている。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時代の要請に対応したカリキュラム編成と教員の確保、および教員の研修機会の確保に向けて検討していただきたい。
学修成果	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 退学率は明示されていないが、その低減化を持続させる対策を訴えている。 ○ 卒業生の長期的な動向把握を求めている。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員は、「私の学校」とい意識のもと、現状・将来について真剣に考えている。 ○ 退学者及び卒業生の中途(早期)退学の原因分析と事後指導の方策を検討していただきたい。 ○ 在校生の指導に役立たせるためにも、各種情報ツールを駆使し、卒業生の動向把握に努めていただきたい。
学生支援	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学生の相談機能の充実を求めている。 ○ 高校等との連携した取り組みを求めている。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生への継続的支援と学生相談の充実に努めていただきたい。また、高校との連携を含めたキャリア教育の更なる充実に努めていただきたい。
教育環境	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災・防火体制の万全な整備を求めている。 ○ 環境整備の充実を求めている。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災・防火対策の校内システムの見直しを図っていただきたい。
学生募集	課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大変厳しい評価であり、入学生の減少、及び学校の将来に強い危機感を抱いている。 ○ 学生募集活動に関わる活動情報の共有の充実を求めている。
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入学生確保に向けての全教職員の一致した取り組みと募集活動の更なる工夫強化について全校的見地で検討していただきたい。 ○ 在学学生は無論、卒業生(国試不合格者を含む)への丁寧な継続的指導は、学校に対する保護者・地域社会等の更なる期待に応えることになると考えられるので、その方策について更に検討していただきたい。

財 務	課題	○ 入学者の減少により財政的にも減収である。
	評価	○ 入学生の確保を含め安定財源に努めていただきたい。
法令遵守	課題	○ 自己評価は自他の現状を考える上で重要な機会となる。
	評 価	○ 法令は遵守されている。自己評価や問題点の改善の機会を設け、更なる向上充実に努めていただきたい。 ○ 学生による授業評価は、教員の評価となり、自己の足元を見つめ直す良い機会であると考えられることから、検討していただきたい。
社会貢献 地域貢献	課 題	○ 「学生のボランティア活動を奨励・支援している」という質問は高い評価と なっているが、活動自体は縮小・減少していると思われる。 ○ 積極的に取り組み、様々な場面で学校の活動が取り上げられることにより、学校への評価が更に高まり、学生募集にも良い影響が出るとと思われる。
	評 価	○ 「全校をあげて地域社会に貢献する学校」を評価を更に高めるためにも、積極的に活動を展開していただきたい。